

1. 学校教育目標

自ら学び、共に生きる児童の育成

～社会的自立の基盤づくり～

◇ビジョン (vision) 展望

わが校は、小野市が推進する小中一貫教育の視点を土台に教職員・児童生徒・保護者・地域等の協働で価値創造をめざす。その推進により、新たな学校文化が創造・醸成され、「自学共生」たる人材が育成される。

◇ミッション (mission) 使命

「何を学ぶか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるか」を踏まえるとともに、9年間を見通した教育課程と発達段階に即した指導支援によって、子どもたちの学力を向上させ、社会的自立の基盤を育てる。

◇バリュー (value) 価値

「脳科学理論」の推進を中核として、科学的な考え方・態度に裏打ちされた主体性を発揮し、来るべき「Society5.0 社会」でたくましく生き抜く人材を育成する。

2. 重点項目

(1) 「夢と希望の教育 (第Ⅲ期)」の推進

- ・「脳を鍛え、心を育てる脳科学の知見」に基づいた教育活動
- ・超スマート社会 (Society5.0) を生き抜く力の育成

(2) 旭丘中校区「小中一貫教育」の推進

- ・「小中一貫」を常に意識した、チームとしての取り組み
- ・9年間を貫いた学習指導・生徒指導・人権教育の充実

(3) 主体的、対話的で、深い学びの創造

- ・わかる授業、家庭学習の充実、GIGAスクール構想の実現
- ・ハイブリッド教育 (オンライン教育と対面式教育をベストミックス)
- ・個別最適な学び、協働的な学びの推進 (伸ばす教育、底上げ教育)
- ・研修の充実による教師力 (授業力・生徒指導力・人権意識) の向上

(4) 安全・安心のある学校づくりと地域連携

- ・「児童が通いたい」、「保護者が通わせたい」、「地域が期待する」学校づくり
- ・物的 (施設・設備)・心的 (信頼・互敬) 共に充実した学校環境づくり
- ・地域・保護者の信頼の深化

(5) 「働き方」を改革し、足元から見直す「業務改善」

- ・勤務時間の適正化 (仕事の優先順位、定時退勤日の徹底)
- ・プロ教師としての矜持 (思い・願い)
- ・ワークライフバランス